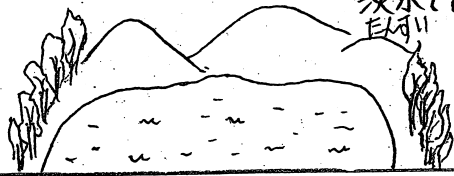


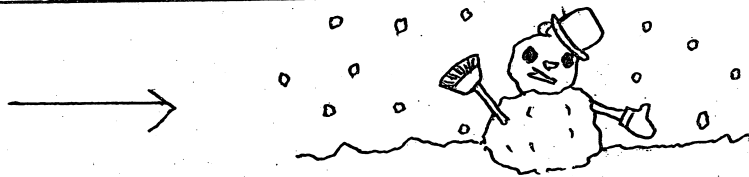
たん おい  
淡水



淡水でできた湖  
みどり

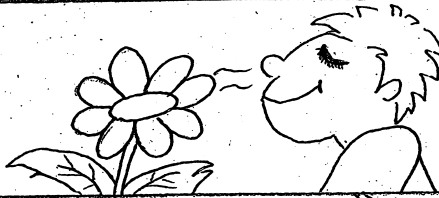
塩分を含まない水。

あわ ゆき  
淡雪



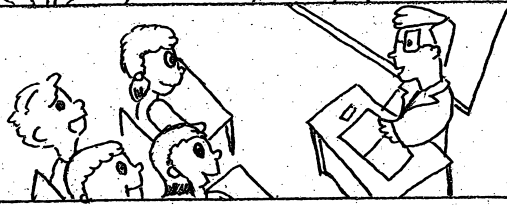
春の初めに降る、とけやすい雪。

はな にお  
花の匂い



花の匂い。

じゅく せい  
塾生



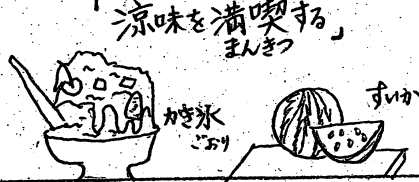
塾の学生。

じゅく ちやう  
塾長



塾の最高責任者

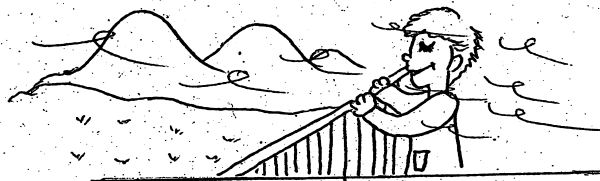
りやう み  
涼味



涼味を満喫する、

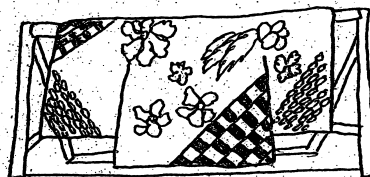
涼しい感じがする

あざい かせい  
涼しい風



ひんやりとした風。

しほ ぞ  
絞り染め



絞り染めの着物

しほぞ 着物

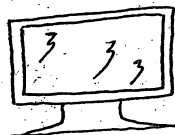
じゆ ぼ  
絞まる



「ネクタイで首が絞まって苦しい」

固く締められる。

ひん ぷく  
普及



「テレビの普及」

広く世間にいきわたる

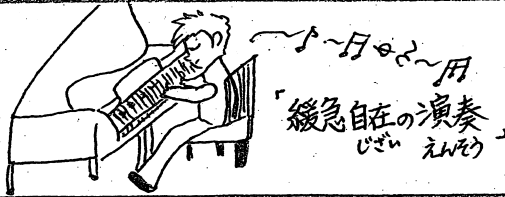
まん きつ  
満喫 →

「秋の味覚を満喫する」  
あき ちか



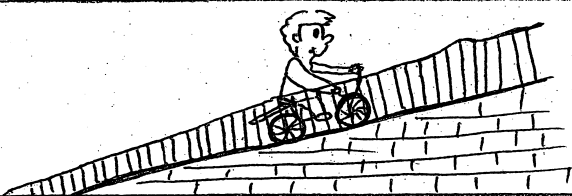
じゅうぶん の く  
十分に飲み食いすること。

かん きゅう  
緩急 →



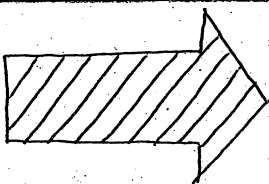
ゆるやかなことと速いこと  
おそいことと遅いこと。

ゆる さか  
緩い坂 →



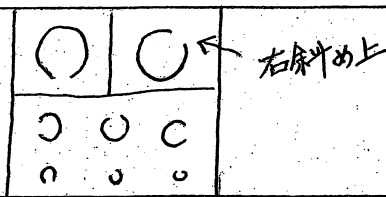
ゆるやかな坂道

しや せん  
斜線 →



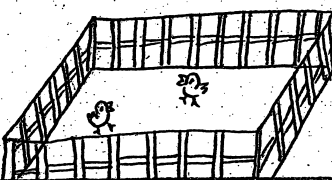
ななめ に ひいた せん。

みぎ ぬか うえ  
右斜め上 →



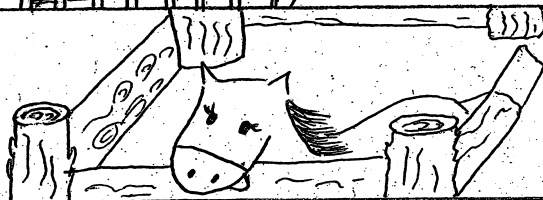
みぎぬか うえ  
右斜め上

さく かこ  
柵で囲う →



さく ぼう  
柵をまわりに建て並べること。

き さく  
木の柵 →



き さく ぼう  
木でできた柱状の囲い。

い せき  
遺跡 →



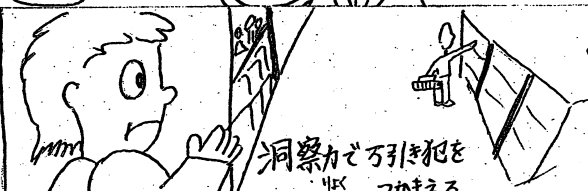
これのこ じゆん がいけん  
歴史に残る重要な事件や  
けんちく ぶつ あと せき  
建造物のあつた跡。古跡。  
きやうせき  
旧跡。

あし あと  
足跡 →



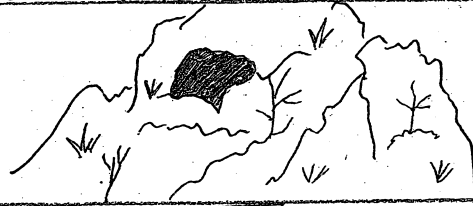
とよ 通ったあとに残る足の形。  
とよ 通っていた道筋。足跡。経路。  
とよ 通った  
業績。そせき。

どう さつ  
洞察 →



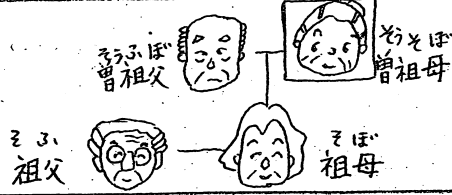
よく見通すこと。見抜くこと。

ほら あな  
洞穴 →



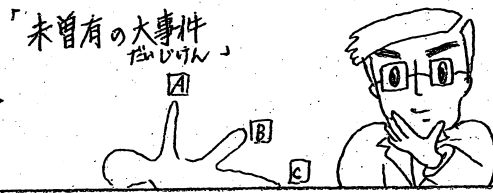
いわやま  
岩山やがけにある、  
ふか おお あな  
の深い大きな穴

そう そ ぼ  
曾祖母 →



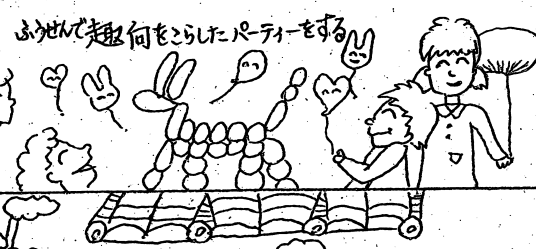
ばば  
祖母の母  
いはいばばのこと。

み ぞう 有  
未曾有 →



いまだかつて起きたことがないこと

しや こう  
趣向 →



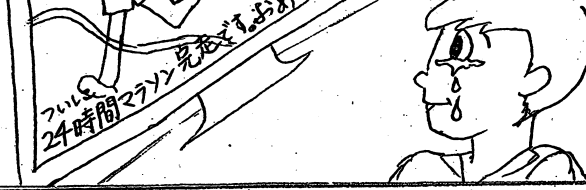
おもしろさを出すための工夫  
おもむき

おもむき ぶか  
趣深い →



ふせいのあるようす。  
あい  
興味がある。

かん るい  
感涙 →



なみだ  
心をうたれて流すなみだ

なみだ  
涙ぐむ →



はな  
かわいゆな話  
涙ぐむ

め  
目になみだをうかべる